

## 非正規労働者に焦点を充てた学習を (近畿地協春闘学習会)

2月16～17日、京都市内で近畿地協春闘学習会が開催され、近畿はもとより青森・世田谷・武生・米子・南日本・金融ユニオン北九州の仲間など44人(うち女性11人)が参加しました。

岡野議長は挨拶で「学習活動を強め、組織の拡大と命を大切にしない今の政治を改めるよう頑張っていきましょう」と訴えました。

講演では、非正規問題に詳しい村田浩治弁護士が「有期労働契約法改正と労働者派遣法改正施行にむけて」と題し、「労働者供給の禁止」の



原則に反し本来あってはならない派遣労働や、「期間限定の必要性のない仕事にまで広げられている」有期労働契約が、今では「いつでも首を切れる」ものに利用されている実態に触れ、昨年来、労働者を保護する目的で「改正」されてきている労働契約法と労働者派遣法の中身と活用方法を具体的に話されました。

### 三井住友信託と京都北都の仲間が特別報告

特別報告では、三井住友信託銀行(金融ユニオン)の仲間が、昨年の中央三井信託と住友信託の合併で非正規雇用の基本給の保障がなくなるなど、労働条件の不利益変更が進められ、現場では非正規労働者の優良顧客が取り上げられている厳しい実態を訴えました。

京都北都の仲間からは、「やってもやらなくても同じ賃金でいいのか」という批判を口実に「新人事制度」の導入が定昇の実施を人質に進められてきている問題で、この間の組合の取り組みで、一定の改善が図られてきていることが報告されました。

また、福井事務局長は「賃下げが逆に国際競争力の低下を招いてきた」と賃上げに背を向ける経労委報告を批判し、「国会やマスコミでも、景気回復への賃上げの必要性が採り上げられている」今春闘への具体的な取り組みが提起されました。

### 「預かりっぱなし資産」でいいのか

3つの班での分散会では、職場実態や13春闘への思いなどを出し合いました。

「仕事の実態を無視した低賃金のパート労働者」「不払い残業を生んでいる残業の上限規制」「人員不足でコンプラ連続休暇さえ取れないコンプラ違反の実態」「リスク商品の推進で契約後は預かりっぱなしになっている顧客不在の営業」「賃金削減によるモチベーションの低下」「非正規労働者へのさまざまな差別」「人が人を評価する考課制度の問題点」などが熱く話されました。

全体会の最後に阿部副議長のまとめとガンバロウ三唱で閉会となりましたが、今回の学習会には、女性の参加者が2割を超えるなど、女性からの労働組合への期待の高まりを感じられるものとなりました。

## 高齢者雇用に関する要求書提出

(池田泉州銀行従組)

2013年4月から施行される改正高齢者雇用安定法への対応が急がれるため、春闘要求と別立てで要求書を提出し交渉を行いました。

要求書は、「選別基準の廃止」に加え、高齢者の能力やキャリアを活かすべく、生活の安定を考慮した賃金や労働条件、福利厚生継続など、要求の趣旨を示し作成しました。

また、55歳以降の処遇改善、法改正対応とした、賃金体系への不利益変更を伴う見直しは実施しないよう申し入れました。

定年時の賃金の著しい格差の改善や、介護などの諸問題に配慮し、65歳まで働き続けられる環境整備、勤務形態についても選択できる柔軟な運用とするよう、また、有期雇用労働者についても正規雇用者と同様の対応を申し入れました。

法改正に対して、「地域金融機関は地域に対して社会的責任を担っているため、メガバンクのような考え方は出来ない、法に沿って検討していく」という考え方が示されました。

## メガバンク労働者に宣伝行動

大阪・みどうすじ総行動

金融ユニオンは、2月21日、大阪で行なわれた第1次みどうすじ総行動の早朝宣伝で、メガバンクのみずほ・三菱東京UFJ銀行の4カ所の事務センターの労働者に、公務・地域の仲間32人の協力を得て独自ビラ534枚を配布しました。

メガバンクの従業員組合が、非正規労働者の組織化を計画している、この時期に金融ユニオンが、これまで多くの非正規労働者からの相談を受けて勝ちとってきた成果などを労働者に紹介することは大切であると判断し、取り組まれたものです。

金融ユニオンでは、引き続き名古屋・東京でも両銀行への宣伝を広げ、「目に見える」春闘にしていきたいと考えています。



## 行灯がつくる夕暮れのまち、ゆあさ

今年も湯浅の古い街並みに、行灯の柔らかな灯りが灯ります。全国から集う力作の数々。そして見入る人々の微笑み。第7回目を迎える、ゆあさ行灯アート展に来てみませんか。

(金融ユニオンきのくに分会・森)



## 部下に厳しい女性役席(「ニッキン」より)

2月15日付の業界紙「ニッキン」に表記の記事が掲載されていましてご紹介いたします。皆さんはどう思われますか？

「昨年春に当店で女性の預金課長が着任したんだけど、女性職員への接し方が厳しくて…」と、近畿地区の信金支店長は心配そう。男性課長に比べて仕事が緻密な分だけ、部下の女性職員に高いスキルを求めがちになるようだ。

この悩みは人事部も同様。地域銀の人事部担当者は「預かり資産販売が優秀な女性行員を、ある支店で内部の役席に抜擢したが、部下とうまくコミュニケーションがとれず、業務に支障が出かねない」と話す。しかし、着任半年で異動や担当替えをさせれば本人のモチベーションにも影響するため、担当者は頭を抱える。

一方、大阪府下信金の担当者は「女性の役席は部下には厳しいが、預金などの事務は完璧。女性が少ない審査部などに抜擢すれば、男性にはない視点で仕事をするかもしれない」と期待する。

## 当面の行事予定

- 3月1日(金)パート1000人パレード(大阪市役所前)
- 3月2日(土)近畿地協組織部会議(西日本事務所)  
大企業労働者交流集会(大阪国労会館)
- 3月5日(火)金融労連統一要求日
- 3月8日(金)国際女性デー大阪集会(エル大阪)
- 3月10日(日)原発ゼロ関西集会(大阪)
- 3月14日(木)第2次みどうすじ総行動  
菜の花行動(大阪・剣先公園)